

衛星リモートセンシングWG

衛星リモートセンシングWG長 今井 靖晃

1. はじめに

衛星リモートセンシングWGは2023年度に新設されたWGです。活動内容が複数の技術部会にまたがるため、技術委員会直下のWGとして活動しています。

衛星リモートセンシングWGでは、衛星合成開口レーダー地盤変動測量作業規程の制定や固定資産現況調査への衛星画像活用など衛星リモートセンシングの社会実装が進みつつある中、持続的な利活用のための技術検証、外部機関との意見交換、提言等の活動を行っており、2025年度の登録会員企業は26社です。また、勉強会により、会員各社の衛星リモートセンシング活用の拡大を推進しています。

2. 2025年度の活動

(1) WGの開催

2025年度はWGを6回、幹事会を1回開催しました(表1)。なお、6回のWGのうち5回は、空中計測・マッピング部会と合同で開催しました。

(2) 固定資産現況調査を想定した高解像度衛星画像と空中写真の判読実証

2024年5月1日に総務省自治税務局資産評価室から、各都道府県市町村税務担当課および東京都主税局固定資産評価課向けに、高解像度衛星および超解像画像を活用した現況調査に関する情報提供がなされました。

今後、自治体等からの問い合わせが増加することを見据え、空中計測・マッピング部会と

表1 衛星リモートセンシングWGの開催実績

回数	日時	参加	議題
第1回	2025/6/23(月) 15:00~17:00	WGメンバー 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年度WGメンバー紹介 ・2025年度WG活動方針 ・固定資産現況調査を想定した高解像度衛星画像と空中写真の判読実証の進め方について ・勉強会テーマに関する意見交換 ・連絡事項(協会事務局より) ・その他
第2回	2025/7/23(水) 14:00~16:00 【空マ部会合同】	WGメンバー 空マ部会メンバー 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産現況調査を想定した高解像度衛星画像と空中写真の判読実証の着手について ・【WG勉強会】最近の衛星リモートセンシングの動向(担当:国際航業) ・連絡事項(協会事務局より) ・その他
第3回	2025/8/8(金) 16:00~17:00 【空マ部会合同】	WGメンバー 空マ部会メンバー 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産現況調査を想定した高解像度衛星画像と空中写真の判読実証の着手について
第4回	2025/9/30(火) 15:30~17:00 【空マ部会合同】	WGメンバー 空マ部会メンバー 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産現況調査を想定した高解像度衛星画像と空中写真の判読実証に関する中間報告 ・【WG勉強会】干渉SARの実務と利用事例(担当:パスコ) ・連絡事項(協会事務局より) ・その他
第5回	2025/11/26(水) 14:30~16:00 【空マ部会合同】	WGメンバー 空マ部会メンバー 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産現況調査を想定した高解像度衛星画像と空中写真の判読実証のとりまとめについて ・【WG勉強会】ALOS-4の最新情報(担当:パスコ) ・連絡事項(協会事務局より) ・その他
幹事会	2025/12/11(木) 13:00~14:00	WG長 副WG長 空マ部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・判読実証のとりまとめ方法に関する協議
第6回	2026/1/27(火) 15:00~17:00 【空マ部会合同】	WGメンバー 空マ部会メンバー 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産現況調査を想定した高解像度衛星画像と空中写真の判読実証とりまとめ ・2025年度の振り返りと次年度の活動について ・連絡事項(協会事務局より) ・その他

衛星リモートセンシングWGが連携し、費用と判読性について検証することとなりました。

2024年度は費用の検証と、判読実証を行う対象エリアの選定および高解像度衛星画像の購入を行いました。

これを受け、2025年度は空中計測・マッピング部会との協働により、固定資産現況調査を想定した高解像度衛星画像と空中写真の判読実証を実施しました。

対象エリアと使用した高解像度衛星画像を図1、実証スケジュールを表2に示します。

実証には11社の会員企業が参加し、2026年1月27日(火)の第6回WGでとりまとめました。

なお、本実証成果は、2026年度に開催される第48回測量調査技術発表会での報告を予定しております。

(3) 勉強会

衛星リモートセンシングに関する最新の技術動向を幅広く把握するため、会員企業の専門技術者を招くなどにより、WG開催時に勉強会を行っています。

2025年度は下記に示すテーマで3回の勉強会を行いました。

- ・7/23(水) 最近の衛星リモートセンシングの動向(担当:国際航業)
- ・9/30(火) 干渉SARの実務と利用事例(担当:パスコ)
- ・11/26(水) ALOS-4の最新情報(担当:パスコ)

3. まとめ

これまで、衛星リモートセンシングにあまり接してこなかった会員も多いと思いますが、衛星合成開口レーダー地盤変動測量が基本測量に位置付けられたことや、地図作成や固定資産現況調査への利用など、測量・調査分野での利活用が進みつつあります。

今後も他の部会や事務局と連携しながら、衛星リモートセンシングに関する情報共有や技術検証、勉強会、意見交換会等の活動を継続してまいりますので、興味・関心をお持ちの会員各社の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

- ・ 対象エリア: 横浜市都筑区(パスコ様ポアサイト)
- ・ 航空写真(地上画素寸法9.3cm) : 2024年11月28日撮影
- ・ 衛星画像
 - ① WorldView-3(30cm解像度) : 2024年11月27日観測(観測角度:28°)
 - ② ①の超解像画像(15cm解像度) : 2024年11月27日観測(観測角度:28°)

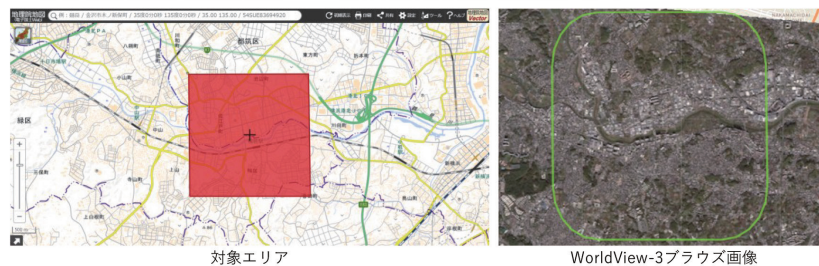


図1 固定資産判読実証の対象エリアと使用した高解像度衛星画像

表2 固定資産判読実証のスケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
空マ部会・衛星WG	23	23	8	30		26		27
航空写真画像の提供	→	▶						
高解像度衛星画像の提供	→	▶	●					
判読項目・評価表の作成			●					
実証参加企業の決定		●						
実証作業			→	→	→	▶		
中間報告				●				
成果とりまとめ							→	▶
最終報告								●